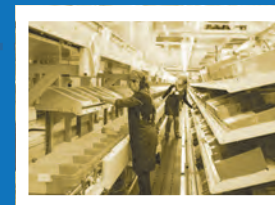


「マテハン塾」のご案内

マテハンシステム管理士講座



マテハン塾とは

国内唯一のマテハン専門講座

【マテハンシステム管理士1種、2種】資格取得講座

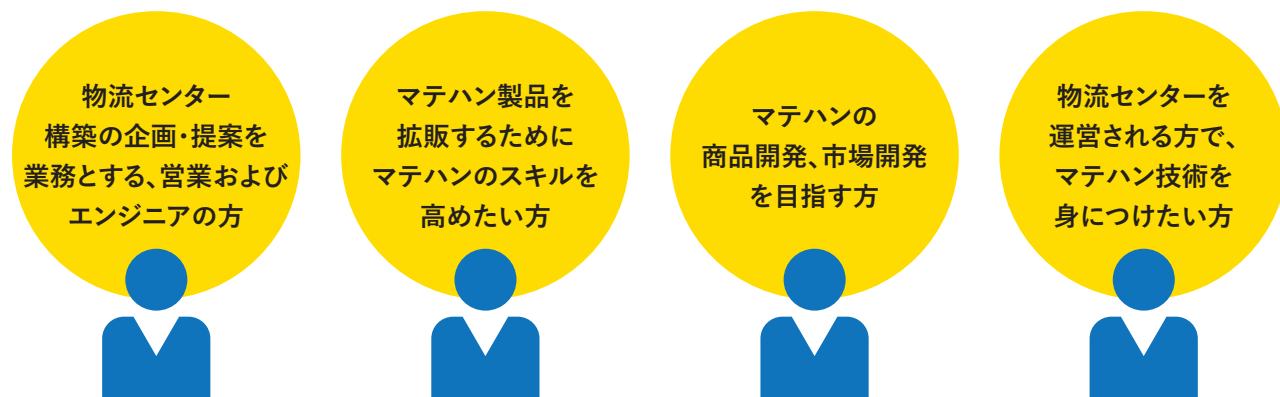
日本のマテリアルハンドリング(マテハン)システム(MHS)の技術水準は世界トップクラスですが、機器の機能とユーザーのニーズを見極め、効果的・効率的なシステムを企画・構築・提案できる人材に限られているのが現状です。本講座は、第一線でマテハンを「販売する」「提案する」「管理する」人材に必要な専門知識やノウハウを習得させ、日本物流システム機器協会(JIMH)が認定する『マテハンシステム管理士』の資格を取得できる **国内唯一のマテハン専門講座** です。

目的と対象者

第一線で活躍できる人材の育成

マテハンシステム管理士の養成

マテハンの機能をフルに活用した物流センターの企画・構築・提案ができる人材を育成します。具体的には以下のような方々を対象とします。



会長挨拶



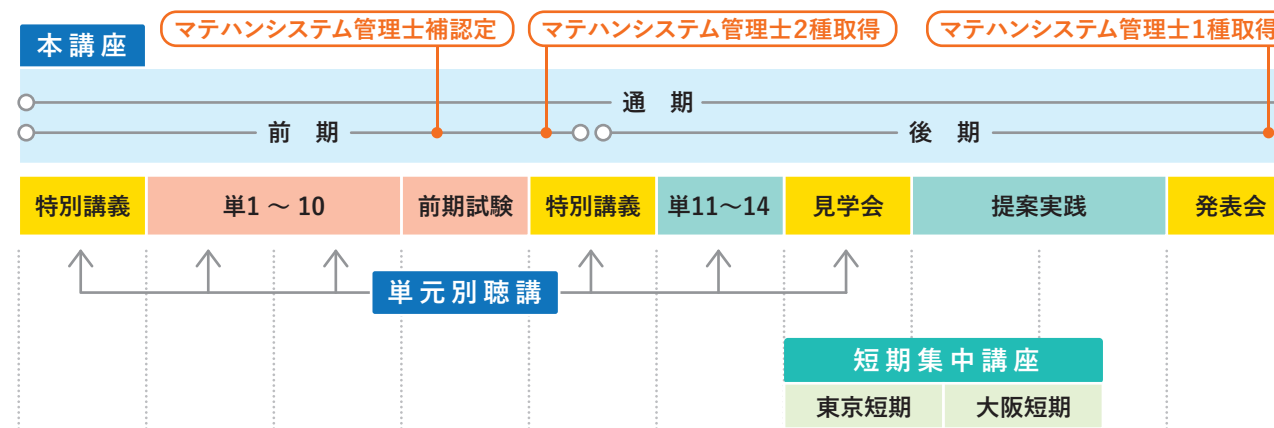
会長 村田大介

モノの流れを効率化・自動化するMH(マテリアルハンドリング)技術は、物流のインフラ技術として、企業のロジスティクスや生産性向上に大きな役割を果たしてまいりました。日本物流システム機器協会(JIMH)は、MHに携わるメーカーを中心に2008年に発足した団体で、物流システムの理解促進と課題解決の提言を目的に、さまざまな活動に取り組んでいます。これからの社会において、少子高齢化にともなう労働人口の減少、Eコマースの普及による消費形態の多様化、グローバル化とサプライチェーンの高度化および資源・環境問題など産業界を取り巻く情勢はさらに変化していくことでしょう。JIMHは、産業界への貢献と物流システム機器業界の発展を目指し、たゆまぬ努力を続けてまいります。皆様におかれましては、積極的なご参画とご活用を心からお願い申し上げます。

コースと特長

マテハンの基礎を学びたい方から、マテハンシステム管理士の資格取得を目指す方まで幅広く、キャリアやスキルに合わせてコースを選べます。また、学習、補講等のために目的の単元だけを聴講することもできるようになりました。

本講座	通期コース	72時間以上 【総合学習、実践スキルアップ】 座学その他、施設見学、グループワーキングなどを通じて、マテハンシステム管理士1種取得を目指します。
	前期コース	30時間 【マテハン機器のハード、ソフトと運用学習】 座学を中心に、マテハン機器のハード、ソフト、運用について幅広く学習し、修了時にはマテハンシステム管理士補の資格(2種受験資格)の認定が受けられます。マテハンシステム管理士2種の試験合格を目指します。
	後期コース	42時間以上 【マテハンシステムの分析、計画、提案実践スキルアップ】 原則として前期コース修了者およびマテハンシステム管理士2種資格者が受講対象になります。座学その他、施設見学、グループワーキングなどを通じて、マテハンシステム管理士1種取得を目指します。
短期集中講座		本講座前期コースのエッセンスを短期集中で学びます。東京地区、大阪地区各1回開催します。修了者は管理士補の資格(2種受験資格)を取得できます。



JIMHとは?

物流システム機器業界をもっと活性化させるために

日本物流システム機器協会(JIMH)では、行政、各種関連団体やMH(マテリアルハンドリング)の現場に精通しているシステム機器・部品メーカーと連携しながら、社会や産業界のMHに対するさまざまなニーズの実現や課題解決に向けて、「生産・物流現場の省力化・自動化」「環境負荷低減を重視したMHシステム」「グローバル化に向けた業界連携と国際標準化」に取り組んでいます。

認定資格について

マテハンシステム管理士1種

資格定義 マテハンシステムに関する機器および運用に関して、総合的、専門的知識を有するとともに、ユーザーニーズの聞き取り、調査、入出荷データの分析をもとに、システムの企画、構築提案を行うことができる。

資格要件 マテハンシステム管理士1種試験(レポート、実践発表)に合格された方。

受験資格 マテハンシステム管理士2種資格を取得された方。

マテハンシステム管理士2種

資格定義 マテハンシステムに関して情報システムを含めた機器と運用の総合的な知識を有し、ユーザーに対し製品情報などの配信、運用の提案ができる。

資格要件 マテハンシステム管理士2種試験に合格された方。

受験資格 マテハンシステム管理士補資格を取得された方。
マテハン塾旧運用コースを修了された方。

マテハンシステム管理士補

資格定義 マテハンシステム・機器に関する総合的な知識と基本的な運用に関する知識を有する。

資格要件 マテハン塾本講座前期コース24時間以上受講した方。

マテハン塾短期集中講座16時間以上受講した方。

マテハン塾旧短期集中講座を受講し、本講座前期コースから3時間以上の聴講をされた方。

受講風景・受講者の声



充実感あふれる修了生

実例(イラスト・写真・動画)をもとにした講座は、非常に分かりやすかった

物流センターの実績案件をもとに作成された資料やイラスト・写真・動画を多用した実例をもとに解説するスタイルは非常に分かりやすかったです。全体の物流フローに沿った細かな部分でも、貴重な体験談などを聞いたことが大変参考になりました。講義内容は幅広く、これまで経験がなかった分野での新しい知識の習得や、よく知っているつもりの分野でも新しい発見があるなど、有意義な講座であったと思います。



受講風景

マテハン機器全体を体系的に学べたので、今後の設備提案に活かしたい

自社製品だけでなく、マテハン機器全体を体系的に学べたので、今後の計画段階ではお客様の目線に立った、より現実的なマテハンシステム・機器を提案できるようになったと思います。今後は、客先打ち合わせや現場確認の際に役立てていきたいです。

講座選択

スキル、キャリアや目的に合わせて、申込みしやすい選択方式を採用いたしました。本講座は、通期受講の他、前期のみ、後期のみ受講が可能です。単元別聴講では、関心のある講座をチョイスして聴講いただけます。

講座	コース名	受講時間	受講料	備考
本講座	前期	30時間	会員 15万円 非会員 18万円	最少開講人数15名
	後期	42時間以上	会員 20万円 非会員 24万円	最少開講人数15名
	通期	72時間以上	会員 30万円 非会員 36万円	最少開講人数15名
単元別聴講	特別講義	前期、後期各1回	会員 1回 1万円 非会員 1回 3万円 (他講座受講者、聴講申込者は無料)	定員60人 (本講座受講者含む)
	単元別	単元別に聴講申し込み可能 *対象講座はカリキュラムを参照ください。	会員 1回 3万円 非会員 1回 3万6千円	定員30人 (本講座受講者含む)
	施設見学会	後期1回	会員 3万円 非会員 5万円 (前期コースおよび短期講座受講者は無料)	定員30人 (本講座受講者含む)
短期集中講座		20時間	会員 15万円 非会員 18万円	最少開講人数15名

①受講費用に、会場までの交通費、宿泊費、飲食費は含まれません。②通期コース、前期コース、後期コース、短期集中講座は、「キャリア形成促進助成金(厚生労働省)」の対象となります。③お申し込み後に協会都合により休講となった場合は受講料を返金いたします。④お申込み後、受講決定された講座に欠席された場合、受講料の返金はいたしかねます。⑤本講座および短期集中講座に複数人数お申込みの場合、二人目以降は10%の割引とさせていただきます。⑥単元別聴講については、本講座受講者を含めて定員になり次第締め切らせていただきます。⑦施設見学会の実施時期、定員などは変更になる場合があります。

講義で教わったことが、現場で活かせて良かった

1回目の受講では先生のお話を聞き、メモを取るだけで精一杯でしたが、2回目、3回目と講座が進むにつれて、機器の構造・特長などを知ることができました。仕事で実際に倉庫や工場に行くと、講義で教わったことが活かされる場面も増え、本当にマテハン塾を受けて良かったなと感じました。

大事なことは、お客さまの運用方法を正確に理解することだと学んだ

講義内容が実務に密着した内容で、大変勉強になりました。なかでも、最も重要だと感じるのは、お客さまの運用方法を正確に理解し、入荷から出荷までの流れをきちんとヒアリングできなければ、最適なマテハンシステムを提案することはできません。そしてヒアリングするためには物流用語の意味や物流フローを正確に理解していることが必要です。今回の講座の中で、マテハンとは何か、在庫する目的は何か等、マテハンに関して一から教えて頂き、正しい知識を学ぶことができました。

カリキュラム

※諸事情により開催日時や会場、カリキュラム等が変更になる場合があります。

JIMH 第7期 マテハン塾本講座(前期コース)

講座番号	日程	時間	日程	講師	会場
本講座前期コース(講座番号 本01)	特01	1.5H	基調講演	吉本 一穂(早稲田大学教授)	東京会場
	単01	1.5H	マテハンシステム機器基礎知識	唐下 実(JIMH)	
	単02	3H	コンベヤ・ソーター・垂直搬送システムの計画、使用方法	池田 博幸(オークラ輸送機(株)) 佐々木 義博(ホクショー(株))	
	単03	3H	仕分け・ピッキングシステムの計画、使用方法	山崎 剛三 (トヨーカネツソリューションズ(株))	
	単04	3H	無人搬送車・マテハン系ロボットシステムの導入例、技術動向	辻本 方則((株)ダイフク)	
	単05	3H	フォークリフト、パレット&固定ラック物流・マテハンシステムの安全	泉田 道夫(M TEC)	
	単06	3H	保管システムの導入例、技術動向	吉田 千春(西部電機(株)仮) 三浦 孝之(元ロジスティクス研究所)	
	単07	3H	入荷・入荷検品・運用、情報システム	三浦 孝之 小林 常宏(元(株)ダイフク)	
	単08	3H	入庫運用、入庫情報システム	三浦 孝之・小林 常宏	
	単09	3H	出庫運用、出庫情報システム	三浦 孝之・小林 常宏	
	単10	3H	出荷・出荷検品・運用、情報システム	三浦 孝之・小林 常宏	
	8/31	3H	マテハンシステム管理士2種試験	唐下 実	
	未定	—	修了式	—	

JIMH 第7期 マテハン塾本講座(後期コース)

講座番号	日程	時間	日程	講師	会場		
本講座後期コース(講座番号 本02)	特02	1.5H	特別講義	吉本 一穂(早稲田大学教授)	東京会場		
		1.5H	特別講義	安藤 康行(J-SCIコンサルティング)《予定》			
	単11	3H	オリエンテーション 物流情報システム①	唐下 実 小林 常宏			
	単12	3H	物流情報システム②	小林 常宏			
	単13	3H	ABC分析実践 自己PRプレゼン発表	三浦 孝之			
	単14	3H	物流センター構築について 物流センターが利潤を上げる方法	三浦 孝之 小林 常宏			
	見01	終日	物流センター見学 見学施設に関するディスカッション (マテハンシステム管理士1種レポート)	唐下 実 三浦 孝之		未定	
		10/13	6H	物流センター構築実践 グループワーク		唐下 実・三浦 孝之	東京会場
		10/18	6H	物流センター構築実践 グループワーク		唐下 実	
		10/25	6H	物流センター構築実践 グループワーク		唐下 実	
		11/1	6H	物流センター構築実践 グループワーク		唐下 実	
	11/7	3H	発表会 (マテハンシステム管理士1種試験)	講師陣・教育研修委員	未定		
	12/6 (予定)	—	修了式	—	東京会場		

JIMH 第7期 マテハン塾短期集中講座(東京)

講座番号	日程	時間	日程	講師	会場
短期集中講座東京コース(講座番号 短01)	9/28	1.5H	オリエンテーション/マテハンシステム機器基礎知識	唐下 実	東京会場
		2H	保管システムの導入例、技術動向	吉田 千春	
		3H	コンベヤ・ソーター・垂直搬送システムの使用方法	池田 博幸・佐々木 義博	
	9/29	3H	フォークリフト、パレット&固定ラック 物流・マテハンシステムの安全	泉田 道夫	
		2H	無人搬送車・マテハン系ロボットシステムの導入例、技術動向	辻本 方則	
		2H	仕分け・ピッキングシステムの使用方法	山崎 剛三	
	9/30	2.5H	物流情報システム	三浦 孝之・小林 常宏	
		2H	入荷・入荷検品・入庫運用/入荷・入庫情報システム	三浦 孝之・小林 常宏	
		2H	出庫・出荷検品・出荷運用/出庫・出荷情報システム	三浦 孝之・小林 常宏	

JIMH 第7期 マテハン塾短期集中講座(大阪)

講座番号	日程	時間	日程	講師	会場
短期集中講座大阪コース(講座番号 短02)	11/9	1.5H	オリエンテーション/マテハンシステム機器基礎知識	唐下 実	大阪会場
		2H	保管システムの導入例、技術動向	吉田 千春	
		3H	コンベヤ・ソーター・垂直搬送システムの使用方法	池田 博幸・佐々木 義博	
	11/10	3H	フォークリフト、パレット&固定ラック 物流・マテハンシステムの安全	泉田 道夫	
		2H	無人搬送車・マテハン系ロボットシステムの導入例、技術動向	辻本 方則	
		2H	仕分け・ピッキングシステムの使用方法	山崎 剛三	
	11/11	2.5H	物流情報システム	三浦 孝之・小林 常宏	
		2H	入荷・入荷検品・入庫運用/入荷・入庫情報システム	三浦 孝之・小林 常宏	
		2H	出庫・出荷検品・出荷運用/出庫・出荷情報システム	三浦 孝之・小林 常宏	

「マテハン塾」受講申込用紙

講座番号	講座カリキュラム・コース名	受講料(会員)	受講料(非会員)	備考	申込締切
本01	本講座前期コース 30時間	15万円	18万円	最少開講人数15人 6/14~8/30 マテハンシステム管理士2種試験含む	5月15日
本02	本講座後期コース 42時間以上	20万円	24万円	最少開講人数15人 9/6~11/1 マテハンシステム管理士1種試験含む	8月10日
本03	本講座通期コース 72時間以上	30万円	36万円	最少開講人数15人 (前期開講以降随時募集) 6/14~11/1	5月15日 (随時)
特01、02	特別講義	1回 1万円	1回 3万円	各々定員60人	特01 5月15日 特02 8月10日
単01~14	単元別聴講	1回 3万円	1回 3万6千円	各単元 3時間 定員30人(本講座受講者含)	各講座実施 1週間前
見01	施設見学会	3万円	5万円	定員30人(本講座受講者含)	9月10日
短01	短期集中講座(東京)	15万円	18万円	最少開講人数10人 9/28~9/30	9月10日
短02	短期集中講座(大阪)	15万円	18万円	最少開講人数10人 11/9~11/11	10月10日

①上記受講料は税抜価格です。別途消費税(8%)が必要となります。②お申し込み後、受講決定された講座に欠席された場合、受講料の返金はいたしかねます。③開講決定後、協会の都合により講座が休講となった場合は、受講料を返金させていただきます。④受講料は、原則として開講決定後、協会より御請求書を送付いたしますので、開講1週間前までに現金振り込みにてお支払い願います。

会社・団体名	(フリガナ)	<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 非 会 員			
派遣ご責任者	(フリガナ)	所属・役職:			
	氏 名				
勤務先住所	〒	都 道 府 県	電話:		
			E-mail:		
	氏 名	部署・役職 ご連絡先電話・E-mail	お申し込み 講座番号	受講料 (本体)	協会使用欄
受講者 1	(フリガナ)				
	氏 名				
受講者 2	(フリガナ)			(10%割引*)	
	氏 名				
受講者 3	(フリガナ)			(10%割引*)	
	氏 名				
受講者 4	(フリガナ)			(10%割引*)	
	氏 名				
受講者 5	(フリガナ)			(10%割引*)	
	氏 名				
備考・連絡欄			本体合計		
			消費税(8%)		
			税込合計額		

*本講座、短期集中講座に複数名様お申し込みの場合2名様以降は、10%割引とさせていただきます。
①御請求書は上記責任者様宛にお送りいたします。別送ご希望の場合は備考欄に送り先をご記入ください。